

ハルラ山登頂

韓国最高峰であるハルラ山（1950 m）は約10年前にチェジュマラソンに参加した翌日に登るつもりだったが、足の痛みで断念した因縁の山でもある。ネットで調べると冬でも大勢登っており、日帰りで行復できるということであった（というか、山中での宿泊は禁止されているとのこと）。ネットの情報は前年にほぼ調べ尽くしたと思ったら、今年から事前に入山許可が必要になったことを知り少々あせるが、なんとか許可は取れて日本を出発した。

ホテルを暗いうちにタクシーで出発するが、東側の登山口に着いてもしばらくは待機を余儀なくされる。というのは、入山時間が決められていて、それまでは登山ができないし、決められた時間までに下山させるために、途中の関門で決められた時間までに到達できないと、山頂には向かえないことになっているのだ。

開門時間になると待機していた登山者がどっと登りだす。日本と違って若い人が多いせいか、みんな歩くのが早い。次々と追い抜かされるが、長丁場でもあるのでマイペースで進んでいく。周囲はうっそうとした樹木に覆われていて、北八ツを登っているような錯覚にとらわれる。雪も次第に多くなるのでアイゼンを着けていくが、地元の登山者はアイゼンなしの者も多い。しばらく登ると傾斜が増してきて山頂が間近となってきたことがわかる。



山頂は外輪山の一部となっていて火口が見渡せる。しばらく滞在してから同じ道を下山するが、高度を下げるにつれて暑くなり、一枚一枚と着ているものを脱いでいく。登山口には日の高いうちに降りられ、タクシーでホテルに戻って休憩してから街に出て、海鮮料理に舌鼓をうってチェジュ最後の夜を終えた。